

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和5年1月25日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和5年2月24日（金）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

減塩に関するスーパーと協働した取組	1
	(賀茂健康福祉センター)

◎2月の行事予定

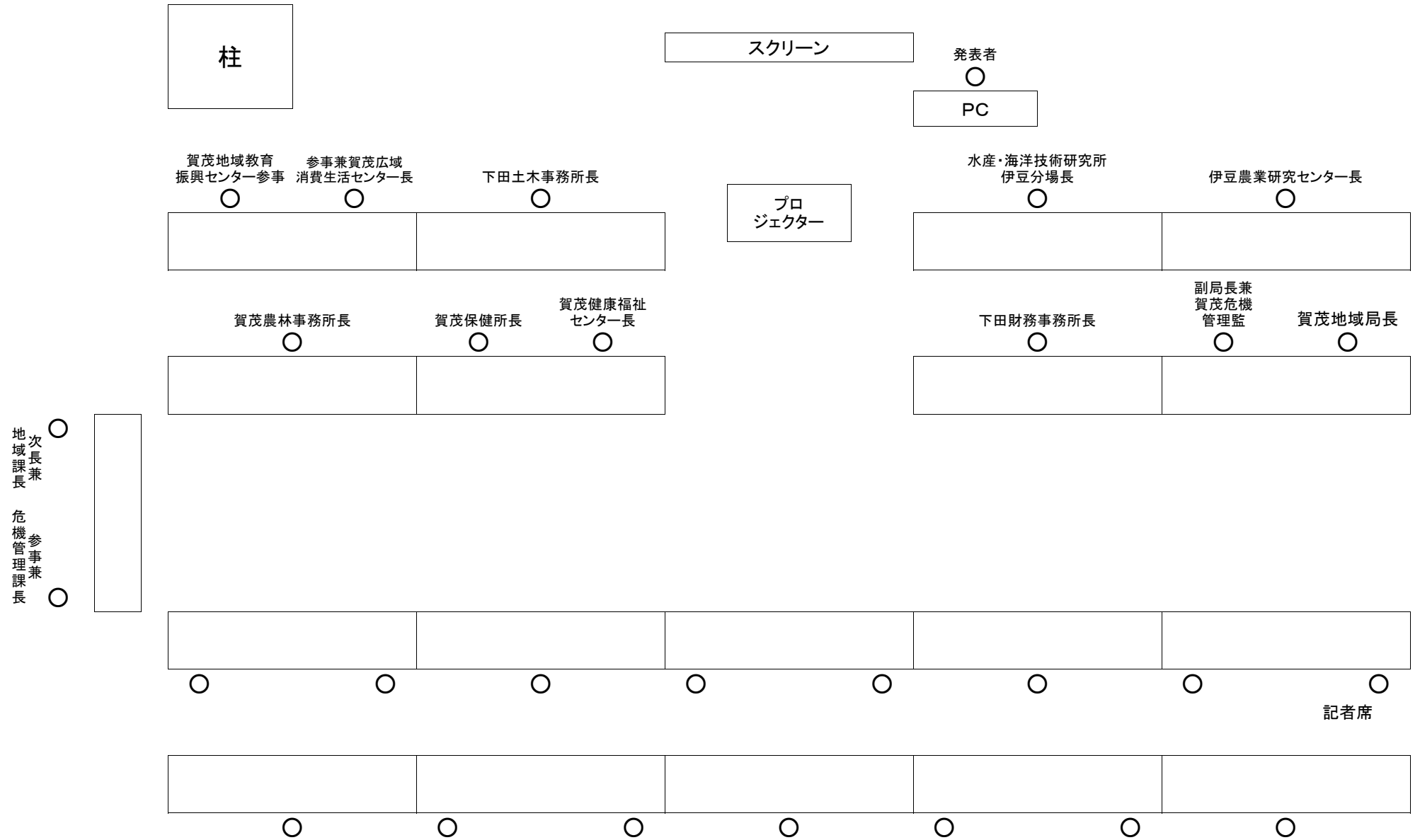
行事予定表	11
賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第24回講座	13
	(賀茂地域局地域課)
防災講座の開催	15
	(賀茂地域局危機管理課)
松崎町で減塩キャンペーンを実施します	16
	(賀茂健康福祉センター)
第14回伊豆農業研究センター公開デーの開催について	17
	(伊豆農業研究センター)
春季観光イベント期間における道路工事の自粛について	18
	(下田土木事務所)

参加者名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	やまね まきつぐ 山根 正嗣
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	下田財務事務所長	はらだ なおあき 原田 直彰
4	賀茂健康福祉センター所長	たなか ひさし 田中 尚
5	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
6	賀茂農林事務所長	やぶざき たけひこ 藪崎 武彦
7	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
8	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	すずき もとお 鈴木 基生
9	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
10	賀茂広域消費生活センター所長	まつなが としの 松永 俊乃
11	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
12	賀茂地域局次長兼地域課長	あおき かつひろ 青木 克裕
13	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



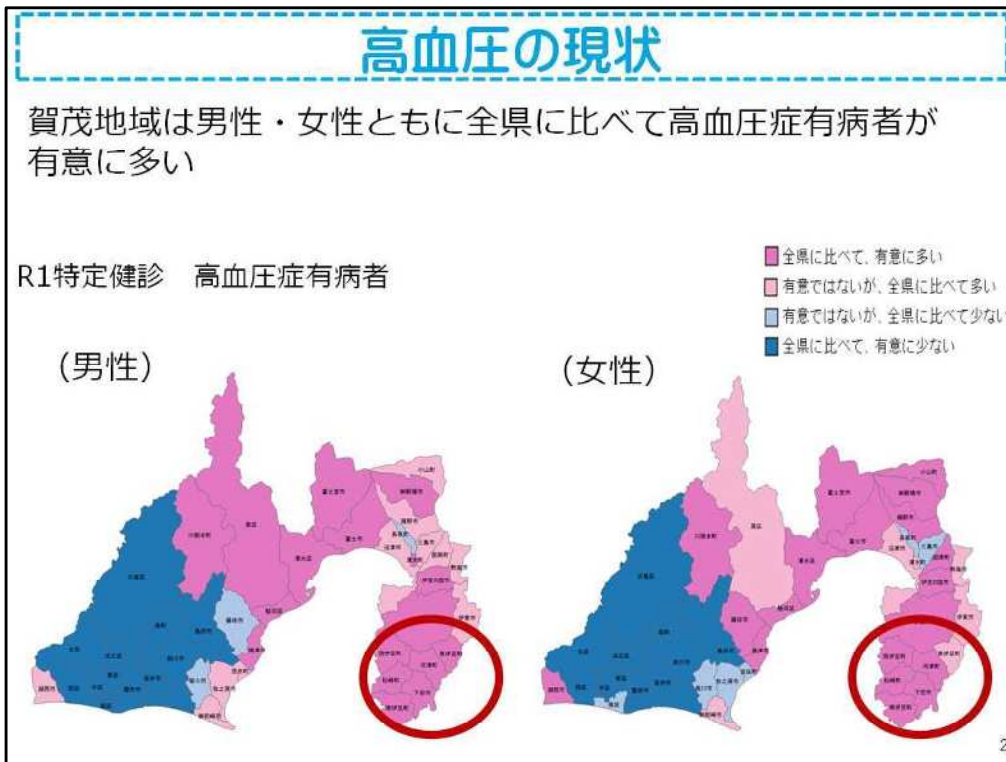
出入口

記者席

記者席



賀茂健康福祉センター健康増進課からは、
賀茂地域の健康課題である「高血圧症」の対策として、今年度取り組んでいる「減塩に関するスーパーと協働した取組」について紹介する。
こちらは、取組の一つである12月17日にスーパーの一角に設置した「減塩ワゴン」である。
このスーパーで販売している減塩商品を一同に集めて展示した。この取組と至るまでの経過について紹介する。



まず、こちらが令和元年度の特定健診データから分析した、県内の市町ごとの高血圧有病者の比較である。

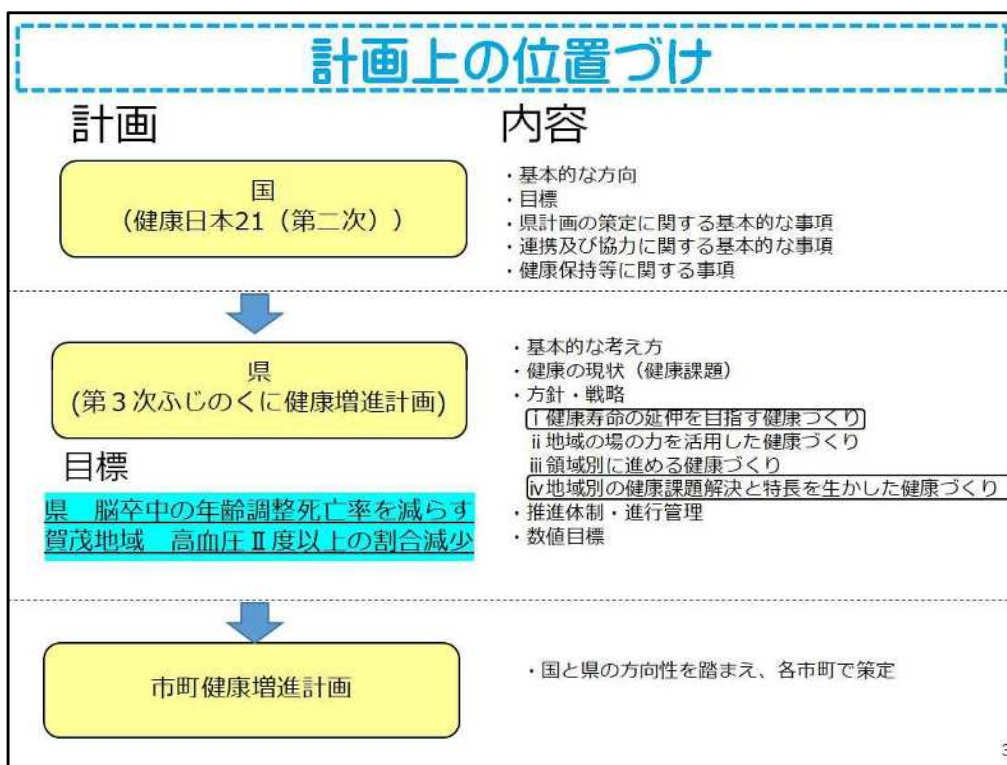
賀茂地域が男性・女性ともに全県に比べて有意に多い濃いピンク色になっていることがわかる。

このことから、**市町の保健指導等によるハイリスクアプローチや減塩対策、野菜摂取を推奨するポピュレーションアプローチ**による一層の対策が求められる。

※令和元年度データが最新値。

※ここでの有意差は、標準化該当比を用いた値。標準化該当比とは、静岡県全体（基準）と当該市町の結果を比較した値で、当該市町の標準化該当比が100より大きい場合は、当該市町の該当者出現割合は静岡県全体より高く、100より小さい場合は、静岡県全体の該当者出現割合よりも低いことを示す。図ではわかりやすいように地図に色づけして市町間の差を示している。

※ポピュレーションアプローチ…集団全体を対象として働きかけを行い、全体としてリスクを下げる取り組み方法（⇔ハイリスクアプローチ）



こちらは、計画上の位置づけである。

高血圧対策事業は、県の健康づくり計画である「第3次ふじのくに健康増進計画の後期アクションプラン」にて健康課題として改善目標が設定されており、（ⅰ健康寿命の延伸を目指す健康づくりにて）県として「**脳卒中の年齢調整死亡率を減らすこと**」、（ⅳ地域別の健康課題解決と特長を生かした健康づくりにて）賀茂地域として「**高血圧Ⅱ度以上の割合の減少と循環器疾患による死亡者を減らすこと**」を掲げている。

特に今年度からは県と賀茂地域では**高血圧対策を重点事業**に位置づけ、取組を強化している。

※第3次ふじのくに健康増進計画…平成30年度から令和5年度までを策定期間とした、国の「国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」に対する県の計画。



これらのことから、当センターでは、市町とともに**医師会や薬剤師会**の先生方、**静岡社会健康医学大学院大学**等に意見をいただきながら、**様々な事業に取り組んでいる**。

また、健康づくり食生活推進協議会や学校給食、スーパー等と一緒に事業を実施している。

※静岡社会健康医学大学院大学…昨年度静岡市に開学。賀茂地域をフィールドとしたかもけん！健診を通じ、賀茂地域の高血圧の分析を実施。

※健康づくり食生活推進協議会…県民の健康増進を目的に活動している住民組織。県内の会員数は約2,300人。

参考：これまでの取組まとめ

項目	事業名	内容
ポピュレーション アプローチ	血圧計マップ (R1~)	・自身の血圧値を知ってもらうことを目的に、スーパーや薬局、JAふじ伊豆など、血圧計を一般開放している場所を見える化するため作成。
	高血圧症対策広報番組 (R 2)	・市町の保健師や栄養士等が出演し、高血圧についての啓発番組を作成。地元ローカルテレビや県の公式YouTubeチャンネルで放映。
	減塩ポップ (R3~)	・高血圧に対する継続した普及啓発や食の環境整備の観点から、市町や薬局の血圧計設置場所、スーパーの減塩商品陳列棚にポップを設置。
	減塩レシピ (R3~)	・市町やマックスバリュに減塩レシピを配架。減塩レシピの作成にあたり、管内の健康づくり食生活推進協議会にレシピの提供を依頼した。
	スーパーと協働した減塩に関する取組 (R4)	・地域住民の日頃の食と生活を支えるスーパー等と協働し、減塩の日（毎月17日）を目処にイベントを実施。地域住民の減塩への意識向上及び行動変容（減塩商品や野菜の購入など）につなげる。
	減塩給食 (R4)	・子どもの頃からの減塩を進めるため、学校給食の栄養士と連携して賀茂地域統一で減塩をテーマにした献立を提供。

これまでの賀茂健康福祉センターの取組

血圧計マップ (R1～)



血圧計が設置してある場所をマップにして「見える化」

5

これまでのセンターの取組を紹介する。

こちらは血圧計マップである。**自分の血圧値を知ってもらうことを目的に**スーパーや薬局、JAふじ伊豆など、血圧計を一般開放している場所を調べて地図とし、当所HPなどに掲載している。

今年度は血圧計設置場所の再調査結果を反映し、マップの更新を行った。

なお、血圧計設定場所には家庭血圧のすすめ（別添）と記録用紙を配架するとともに、身近なところで減塩を意識してもらう機会を増やすため、後述する減塩ポップを設置した。

参考として、皆様のお手元に血圧マップを配布しております。

これまでの賀茂健康福祉センターの取組

高血圧症対策広報番組（R2～）

The collage features several elements: a top row of three nature-themed images (sun, green trees, autumn trees); a central text box with the title '血圧のお話 高血圧はなぜいけない' and subtitle '～賀茂地域の保健師・管理栄養士からのお願い～'; a bottom row of three nature-themed images (flowers, a lighthouse, cherry blossoms); a right-side banner for '静岡社会健康医学大学院大学' with the text '目より健康情報! #1' and a blue bird logo; a large image of a modern building with the text 'だっだいまから始める 高血圧の予防と対策'; and a bottom-center photo of a man in a white shirt and tie, identified as '静岡社会健康医学大学院大学 教授 田原 肇玄'.

続いて、**高血圧症対策広報番組**である。

市町の保健師や栄養士が出演し、高血圧予防について説明する番組（全6編）を作成し、地元ケーブルテレビや県YouTubeチャンネルで放映した。

また、かもけん！健診を主導する田原教授出演の動画（静岡社会健康医学大学院大学作成）も同様に番外編として地元ケーブルテレビで放映した。

これまでの賀茂健康福祉センターの取組

減塩ポップ・減塩レシピ（R3）



続いて、**減塩ポップ**と**減塩レシピ**である。

減塩ポップは、高血圧に対する継続した普及啓発や食の環境整備の観点から、令和3年度から**市町役場や住民に身近なドラッグストア、薬局の血圧計設置場所**、そして**地元のスーパーには血圧計設置場所のほかに減塩を謳った商品の陳列棚にも設置した**。

デザインは厚生労働省のスマートライフプロジェクトで推奨している啓発ツールを加工し、「おいしく減塩1日マイナス2グラム」の標語と県や市町のキャラクターをあしらった。

まずは何だろうと関心を引き、見てもらえるよう、立体的な形となっている。続いて、減塩レシピである。

減塩レシピの作成にあたっては、管内の健康づくり食生活推進協議会にレシピの提供を依頼した。

季節の野菜をたくさん使う等、工夫されたメニューが特徴で現在19のメニューがあり好評である。

参考として、皆様のお手元に減塩レシピを配布しております。

減塩・野菜マシマシを意識した学校給食の献立

減塩給食 (R4)

【うま味】
うま味の効果で塩分が少なくても満足！

【香り】
香りの効果で塩分が少なくても満足！

【素材そのものの味を楽しむ】
静岡県は、豊かな自然からもたらされる野菜や魚、お肉がいっぱい！ふじのくにの地場産物で健康的な食生活を楽しもう！

【野菜マシマシ】
カリウムがナトリウムを体から追い出す！

牛乳
のりあえ
さんが揚げ
ご飯
具沢山の豆乳さつま汁

R4. 11. 24

そして、今年度は、子どもの頃からの減塩を進めるため、学校給食の栄養士と連携して賀茂地域統一で**減塩をテーマにした献立を提供**した。児童、生徒が薄味に親しんでもらうだけでなく、給食をとおして減塩のコツやポイント等の情報を伝えることができた。

減塩に関するスーパーと協働した取組

店長さんと陳列する商品を相談
売れ行きupなるか



減塩ワゴン

9

そして、こちらが今回紹介する「スーパーと協働した減塩に関する取組」である。日本高血圧学会により毎日17日が“減塩の日”として定められているが、その日に当センターでは減塩に関するキャンペーンとして、**スーパー（マックスバリュ松崎店）と連携し取組を実施**している。ネーミングは減塩に関心がない層にも目に留まるよう「**お塩いい塩梅デー**」とした。先月と今月18日に松崎店にて行ったが、内容として、減塩ワゴンの設置、減塩キャンペーン、減塩の日の放送を実施した。来月も同様の取組を行う予定のため、取材をお願いする。

1 概要

高血圧症有病者が多い賀茂地域では、地域住民への減塩に関する普及・啓発が重要である。そこで、地域住民の日頃の食と生活を支えるスーパー等と協働し、減塩の日（毎月17日）を目処に以下の取組を実施する。減塩に関する地域での取組を発展させ、環境整備を進めることで、地域住民の減塩への意識向上及び行動変容（減塩商品や野菜の購入など）につなげる。

2 内容

	取組①	取組②	取組③
名称	減塩ワゴン	減塩キャンペーン	減塩の日放送
概要	減塩商品を陳列したワゴンを店頭 に置いていただく。	1日（又は半日）キャンペーンとして、 お客様に対し、減塩について健康教 育・健康相談を実施する。	減塩について放送していただ く。
内容等	お店のワゴンを利用させていただ き、減塩商品を集めて陳列する。 減塩に関するポップとともに、減 塩コーナーとして店頭においてい ただき、減塩商品の購入につなげ る。	短時間の減塩についての講話（一定の 間隔で数回実施など）及び減塩商品の 紹介、血圧や血管年齢の測定などを 行い、減塩商品や野菜等の購入につな げる。	減塩や減塩の日、減塩商品な どについて録音したデータをお店 で放送していただき、減塩商品 や野菜等の購入につなげる。

減塩に関するスーパーと協働した取組

センターの保健師と管理栄養士が
減塩のお話と血圧測定を実施



減塩キャンペーン

6パターン用意
買い物客の行動変容を促す



減塩の日放送

10

減塩キャンペーンの様子と減塩の日放送の原稿である。

減塩キャンペーンには約30人の買い物客が立ち寄り減塩のお話と血圧測定を保健師、管理栄養士から受けた。また、減塩の日放送もマックスバリュ従業員に協力していただき、実施した。

また、減塩の日の放送は、「減塩」という言葉に対して「美味しくない」などマイナスなイメージを持つ人もいることから、減塩の日を「お塩いい塩梅デー」として広報し、松崎町の高血圧の現状と合わせて減塩等について放送した。

以上が取組の紹介となるが、引き続き賀茂地域が一丸となり取組を推進する所存である。

行事予定表（令和5年2月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	水					道路工事（車線規制）自粛 (6:00-20:00) (2/1-2/28)
2	木					
3	金					
4	土					
5	日					
6	月					
7	火	防災講座（南伊豆東小学校） 9:20～12:05 南伊豆東小学校				
8	水					
9	木					
10	金					
11	土					
12	日					
13	月					
14	火					
15	水					
16	木					
17	金	賀茂キャンパス活用プログラム 「静岡県立大学 社会人講座」 第24回講座 13:30～15:00 賀茂キャンパス		減塩キャンペーン 10:00～ マックスバリュ松崎店		
18	土					
19	日					
20	月					
21	火					
22	水					
23	木					
24	金	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					

行事予定表（令和5年2月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	水					
2	木					
3	金					
4	土	公開デー 9:30～15:00 伊豆農研				
5	日					
6	月					
7	火					
8	水					
9	木					
10	金					
11	土					
12	日					
13	月					
14	火					
15	水					
16	木					
17	金					
18	土					
19	日					
20	月			13:30～15:00 特別法律相談		
21	火					
22	水					
23	木					
24	金					
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					

令和5年1月25日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第24回講座

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第24回講座を令和5年2月17日(金)に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定(単発の参加可)

(概要)

日時	第24回 令和5年2月17日(金) 13:30~15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター 内海 佐和子 教授 『「ならでは」とは？地域資源から再活性化を考える 北海道室蘭を例に』
対象	県民(定員48人)
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合せ先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

※新型コロナウイルス感染症対策(3密の防止、出席者のマスク着用、検温、手指消毒等)に十分留意した上で実施します。

※当日受付にて検温を実施しますが、37.5度以上の発熱があった場合は出席をお控え願います。

※感染拡大の状況によっては、開催を延期又は中止とする場合があります。

担当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2204

賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター

協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

2022年度 第24回(毎月1回開講します)

2月17日(金) 13:30~15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

「ならでは」とは？
地域資源から再活性化を考える
北海道室蘭を例に

講師：内海 佐和子

静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター教授
昭和女子大学大学院博士課程単位取得満期退学
ベトナムの世界遺産であるホイアンの景観変容に関する
研究で博士(学術)の学位を取得
国立大学法人室蘭工業大学を経て、2022年より現職
研究テーマは「世界遺産に対する観光地化の影響」



北海道中南部に位置する室蘭には古来より天然の良港があります。加えて、明治期になると製鋼所がおかれたことにより、「鉄のまち」、「ものづくりのまち」として発展し、東北・北海道を代表する港湾都市となりました。しかし、鉄鋼不況や同じ胆振振興局にある苫小牧港の発展などをうけ、町は衰退の一途をたどり、人口減少も著しいものとなっています。そこで今回は、室蘭の主力観光資源である工場夜景の現状を通し、衰退する地方都市の再活性化についてみていきます。

働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属
ツーリズム研究センター

Mail: trc@u-shizuoka-ken.ac.jp
FAX : 054-264-5476



防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
2月7日(火) 9:20~12:05	南伊豆東小学校 (南伊豆町)	全校	未定	

(計 1回)

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止又は延期の可能性があります。

(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担当：危機管理課 森（連絡先：0558-24-2004）

令和5年1月25日

定例記者懇談会資料

松崎町で減塩キャンペーンを実施します

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

高血圧有病者が多い賀茂地域では、地域住民への減塩に関する普及・啓発が重要です。そこで、地域住民の日頃の食と生活を支えるスーパーと協働し、減塩の日（毎月17日）に取組を実施します。

減塩に関する地域での取組を発展させ、環境整備を進めることで、地域住民の減塩への意識向上及び行動変容(減塩商品や野菜の購入など)につなげます。

(概要)

- 1 日 時 令和5年2月17日（金）午前10時から12時
- 2 場 所 マックスバリュ松崎店2階エレベーター前
(賀茂郡松崎町江奈303-1)
- 3 内 容 以下の3つの取組を実施。

	取組①	取組②	取組③
名 称	減塩ワゴン	減塩キャンペーン	減塩の日放送
内 容	減塩商品を陳列したワゴンと店頭で設置	減塩についての健康教育・健康相談の実施	減塩についての放送の実施

4 その他

- ・取材いただける場合は、事前に下記担当まで御連絡ください。
- ・期間は令和4年12月から令和5年5月までです。
- ・令和5年3月以降も原則減塩の日（毎月17日）に実施予定ですが、店舗の状況により日程が前後する場合があります。



前回の様子（減塩ワゴン）

担 当：健康増進課 海野
連絡先：0558-24-2037

第14回 伊豆農業研究センター公開デーの開催について

(伊豆農業研究センター)

(要旨)

伊豆農業研究センターでは、日頃の試験研究成果を広く県民の皆様にお知らせするため、公開デーを開催します。当日は、施設の一部を一般開放するとともに、各種研究成果の展示、新しいカンキツ類の試食を行ないます。

(概要)

1 日時 令和5年2月4日(土曜日) 午前9時30分から午後3時

2 場所 伊豆農業研究センター 賀茂郡東伊豆町稲取 3012

3 内容

(1) 研究施設(温室、ほ場)の公開

(2) 試験研究新技術展示

パネルによる研究成果の紹介

ワサビ、マーガレット等の育成品種の展示

(3) カンキツ類新品種の試食

開始時間 10:00、10:30、11:00、11:30、13:00、13:30

※試食は30分毎に最大15人/回で実施します(事前予約制)

※氏名、希望時間・人数、連絡先電話番号をメールまたはFAXで申込みください

4 その他

※農産物の販売は行いません

※新型コロナの感染状況により、公開デーを中止する場合がありますので、

ホームページでご確認ください



ホームページ



予約状況・開催予定

担当：生育・加工技術科

連絡先：0557-95-2341(FAX 0533)

Email agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

春季観光イベント期間における道路工事の自粛について

(下田土木事務所)

(目的)

春季観光イベント時期の車両増加を考慮し、周辺道路の円滑な車両交通の確保を図るため、工事施工業者及び占用工事関係者の方々の協力の下、車線規制を伴う道路工事を自粛する。

(概要)

1 期間及び時間帯

期間 令和5年2月1日(水)から令和5年2月28日(火)まで
時間 午前6時から午後8時まで

2 工事自粛の対象路線

- ・一般国道 135号(下田土木事務所管内全線)
- ・一般国道 136号(下田市中島橋交差点～南伊豆町下賀茂交差点)
- ・一般国道 414号(新天城トンネル～下佐ヶ野交差点)
- ・主要地方道 下佐ヶ野谷津線(全線)
- ・一般県道 稲取停車場線(全線)
- ・一般県道 稲取港線(全線)

3 工事自粛の内容

- ・対象時間帯においては、車線規制を伴う工事を自粛し、車線規制は資機材搬入等一時的なものに限定する。
- ・車線規制を伴わない工事の際は、道路工事着手前と同等の車道幅員を確保する。
- ・以上のとおり道路工事を自粛し、円滑な車両交通の確保に努める。ただし、災害等緊急を要する工事についてはこの限りではないものとする。

担当：維持管理課管理班
連絡先：0558-24-2108

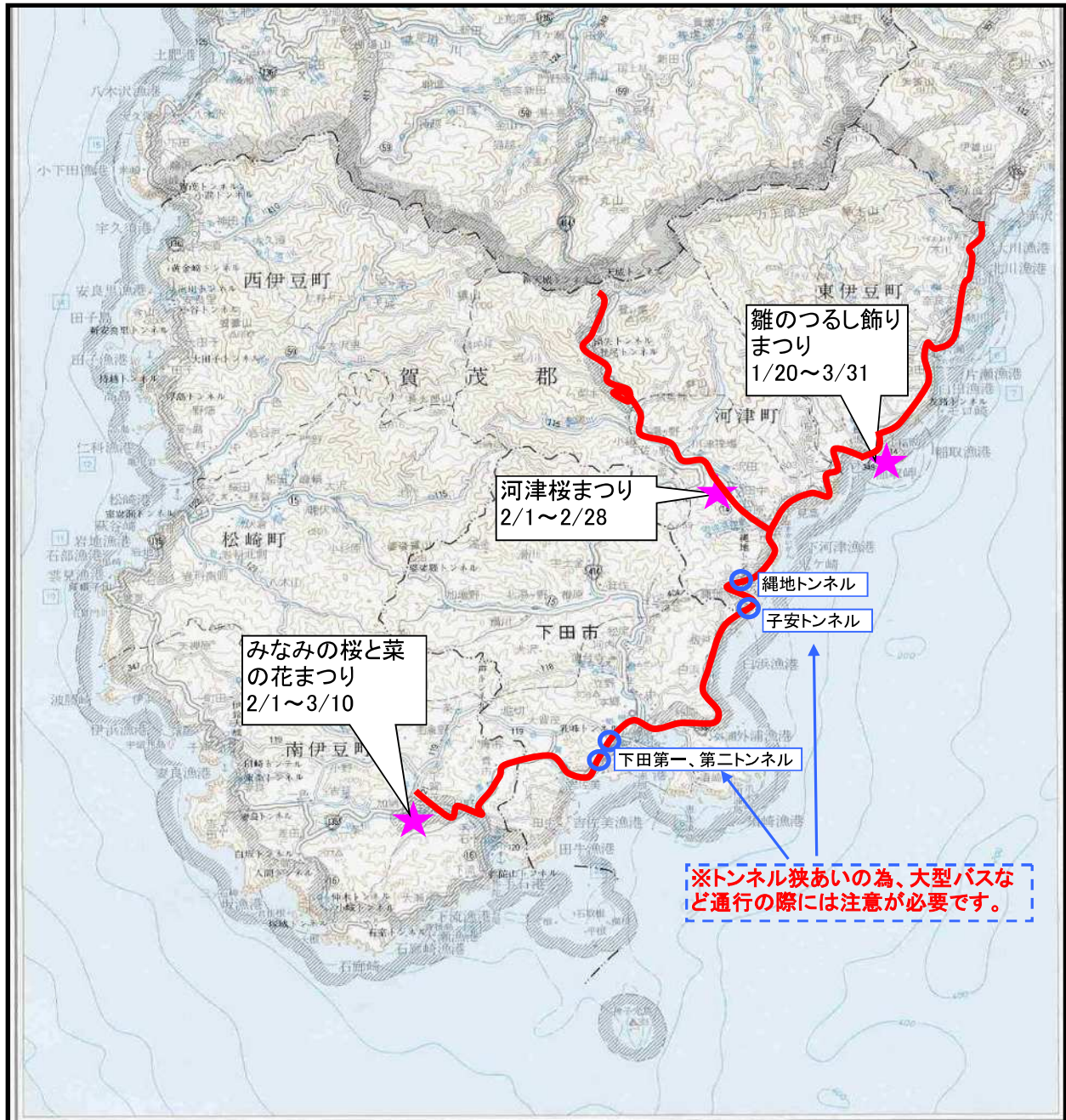
春季観光イベント期間における道路工事の自粛について(お知らせ)

下田土木事務所では、交通量が増大する春季観光イベント期間の渋滞対策として、下記路線にて道路工事を自粛します。
道路利用者及び道路工事関係者の皆様につきましては、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

<期間> 令和5年2月1日(水) ~ 令和5年2月28日(火)

<対象路線> * 下記赤色着色路線

- ・国道 135号 (下田土木事務所管内全線)
- ・国道 136号 (下田市中島橋交差点~南伊豆町下賀茂交差点)
- ・国道 414号 (新天城トンネル~下佐ヶ野交差点)
- ・県道 下佐ヶ野谷津線 (全線)
- ・県道 稲取停車場線 (全線)
- ・県道 稲取港線 (全線)



* なお、上記内容は天候及び緊急工事(占用工事を含む)などにより変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先
〒415-0016 下田市中531-1
静岡県下田土木事務所
担当:維持管理課
電話:0558-24-2108